

令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立砂山小学校
校長氏名	小杉 栄樹
作成日	令和 2年 2月 26日

1 教育目標

<p>豊かな感性と知性を身につけ、たくましく生きる子供を育てる 【めざす子供像】 すてきな言葉いっぱい なかよしの輪いっぱい やる気いっぱい まごころいっぱい</p>

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ○県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る。 ○子供がわかる授業、子供主体の授業実践をする。(90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめのない学校づくりをする。(100%) ○保護者と連携しながらの道徳・人権教育の充実。(90%) ○挨拶のできる子供の育成(90%) ○清掃活動に励む子の育成(90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「早寝、早起き、朝ごはん」に家庭で取り組むとともに、全校で体力づくりをする。(100%) ○避難訓練を年3回計画・実施する。(100%) ○テレビやゲームの時間を短縮できるよう家庭と連携して取り組む。(90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の情報を発信し、子供たちの活動の様子等を保護者と地域に伝えられるようにする。(90%) ○校区で接続、連携の充実に向け、実践する。(90%)
重点目標 【P】	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎子供主体の授業推進 ◎家庭学習の定着 ◎読書活動の推進 ◎砂山タイムの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎「言葉は心」をキーワードとした豊かな感性 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基本的な生活習慣の確立 ◎体力向上の推進 ◎危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ◎幼保こ小中高の接続、校区における学校間連携の推進 ◎地域と協働した教育活動 ◎学校からの積極的な情報発信
取組の状況 【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後等のフォローアップを実施する。 ○子供主体の授業づくりに取り組む。 ○学力の定着を図るため、家庭学習の手引きの活用を保護者にすすめる。 ○「読書100冊にチャレンジ」「あんしよう名人」「砂山575」や「読み語りボランティア活用」で、子供の想像力を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 ○保護者と連携しながら道徳・人権教育の充実を図る。 ○情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨し、家庭と連携して取り組む。 ○体育科の授業の充実、休憩時間等を活用した体力づくりを全校で実施する。 ○避難訓練を計画的に行い、危機回避能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種便りやHP等を通して積極的に学校の情報を発信する。 ○砂山地区保育・教育連携協議会等を活用した、保幼こ小中高の接続、学校区での様々な連携を推進・充実させる。 ○授業のゲストティーチャー、読み語りボランティア等の人材や地域の文化等を積極的に活用する。
取組の成果と課題 【C】 （評価）	<ul style="list-style-type: none"> ○4年生は、県平均を約10ポイント上回ったが、5年生は2~7ポイント下回る結果となった。結果分析を全職員で行い課題を明らかにした。 ○研修等を通して、子供が学ぶ喜びを実感できる授業づくりに取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きないじめに発展する事案はなかったが、一層の取組が必要である。 ○様々な資料を活用して道徳・人権教育に取り組んだ。 ○保護者が子どもの人権、同和問題について学習する機会をもった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝ごはんを食べてきていない子供や遅刻をする子供が少なくない。 ○コロナ禍もあり、体力向上の取組が十分にできなかった。 ○避難訓練を計画的に実施した。 ○テレビやゲームの時間短縮は課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりを地域の回覧板で知らせ、情報発信した。 ○「地域先達との協働による学校教育力充実事業」に取り組み、地域の方々に学習活動の支援してもらった。コロナ禍のため例年よりは機会が少なくなった。
改善方法 【A】 （次年度に向けて）	<ul style="list-style-type: none"> ○算数科を中心に全校で発達段階を踏まえた基礎学力向上のための取組を実施する。 ○「かく力」「関わり合う力」「活用する力」の3つの力の育成に一層取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめのない、小さいいじめも見逃すことのないよう、一層取り組む。 ○子供や保護者の一層の人権意識向上に向けた取組を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣確立のための手立てを講じる。 ○家庭における「早寝・早起き・朝ごはん」の取組を推進するための方策を立てていく。 ○コロナ対策を講じた上での体力向上のための方策を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域先達との協働による学校教育力充実事業」を充実させるために、様々な分野の先達の活用を図る。コロナ対策は万全に行う。 ○ホームページ等による情報発信に一層取り組む。

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> ○子供の登下校に係る安心・安全な取組の方策を保護者や地域が連携して考え、取り組めるようにする。 ○コロナウィルス感染症対策を徹底したうえで、保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、教育活動を進めていく。
--